

締切  
12/31  
(土)

シナリオ募集

# 「太宰治への伝言」

～斜陽館と金木の町を舞台にした家族・絆の物語～

撮影地 太宰治記念館「斜陽館」  
青森県五所川原市金木町



# 「太宰治への伝言」シナリオ募集要領

## ●応募規定

1. 「太宰治への伝言」～斜陽館と金木の町を舞台にした家族・絆の物語～をテーマとするショートムービー用のオリジナルのシナリオを募集します。
2. 完成尺は5分以内を想定した未発表の映像用シナリオに限ります。
3. 著作権・上映権・出版権等が応募者本人にある、日本語によるシナリオとします。
4. 2017年9月に青森県五所川原市金木地区において撮影ができる方。

## ●選考と映像化

1. 応募の中から、選考により最大3作品を採択します。
2. 採択されたシナリオを撮影し映像化する場合の経費は、上限30万円を事務局が負担します。
3. 撮影や編集については、千村利光監督（予定）がサポートするとともに、NPO法人かなぎ元気倶楽部が、作品づくりから公開までをプロデュースします。  
※サポート内容は応募者の希望と作品内容を加味して調整します

## ●選考委員（「太宰治への伝言」映像企画選考会（仮称））

- ・千村利光 映画監督（2014年兵庫県高砂市「高砂しあわせ映画祭」グランプリ受賞作「けの汁」）
- ・湊谷恭史 映画プロデューサー  
（2011年「デン德拉」、2012年「私の叔父さん」、2013年「100回泣くこと」）
- ・川嶋大史 つがる市フィルムコミッション事務局長  
[顧問] 齋藤三千政 弘前ペンクラブ会長

## ●応募方法

### 【郵送により応募する場合】

1. 応募シナリオは、パソコン等で作成してください。（手書き原稿での応募はご遠慮ください）
2. A4サイズの用紙に、20字×20字のページ設定でプリントしたものを送ってください。  
なお、すべてのページにはページ番号を記載してください。縦書き、横書きのどちらでも可。
3. 1枚目は表紙にして、「作品タイトル」と「氏名（ペンネーム可）」を記載してください。
4. 2枚目から、シナリオ（本文）を記載してください。
5. 最終ページ（シナリオの次のページ）には、次の事項を明記してください。  
① 氏名（本名を記載し、フリガナを付けてください。ペンネームを使用する場合は併記してください）  
② 年齢      ③ 職業（学生の場合は学校名及び学年）      ④ 郵便番号・住所  
⑤ 電話番号（日中に連絡のとれる電話）      ⑥ 電子メールアドレス  
⑦ その他、過去の作品歴や受賞歴、応募の理由などアピールすることがありましたら自由にお書きください。
6. 応募原稿は返却しません。原本が必要な場合は必ずコピーを送ってください。
7. 郵送先

住所：〒037-0202 青森県五所川原市金木町朝日山189-3 かなぎ元気倶楽部

宛名：「太宰治への伝言」シナリオ募集事務局

8. 締切り 2016年12月31日（土）必着

### 【電子メールにより応募する場合】

1. 前項（郵送により応募する場合）を参考に、データを作成してください。
2. データ形式は、マイクロソフトオフィス・ワード形式、またはPDF形式とします。なお、オフィス互換ソフトを使用して作成しても構いません。
3. 応募用メールアドレスは次のとおりです。 dazai-m\_c@kanagi-gc.net

## ●全体の流れ（日程概略）

2016年12月31日	締切り
2017年 2月	選考、発表
9月	撮影
10月	編集期間・完成
11月	太宰治記念館「斜陽館」で試写会
2018年 1月	公開

## ●著作権及び使用権について

1. ショートムービーの著作権は製作者に帰属します。
2. NPO法人かなぎ元気倶楽部は、この事業により作成したショートムービーについて、映像撮影誘致や地域活性化を目的とした非営利活動の範囲において、製作者に対して無償かつ自由に上映、貸出、配付、複写を行うことができるものとします。
3. 公開から1年間は斜陽館において上映します。
4. 公開から2年後にインターネット上での公開を行うことができるものとします。

## ●その他・注意事項

1. 締切りを過ぎて到着した応募作品は、審査対象外となります。
2. 応募した脚本原稿等は返却いたしませんのでご了承ください。